

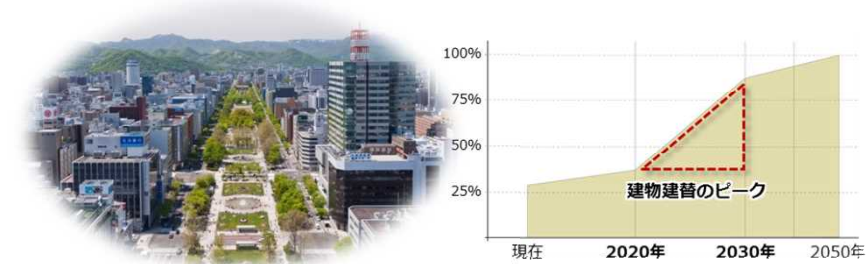
札幌都心における自立分散型エネルギーネットワーク構想 ～高効率なエネルギー利用で未来を拓く札幌のまちを世界へ発信～

代表提案者

札幌市

【構想のコンセプト】

札幌都心において、創蓄省エネルギーの取組をきっかけに、まちの魅力向上や経済成長など様々な効果を生み出すことに積極的に取組み、世界のモデルとなる先進的なまちづくりを目指す。



都心の建物更新時期の到来に合わせて

エリア別の3つのリーディングプロジェクト

自立分散型エネルギー供給施設の設置

エネルギーネットワークの構築

まち全体でのエネルギー消費の削減

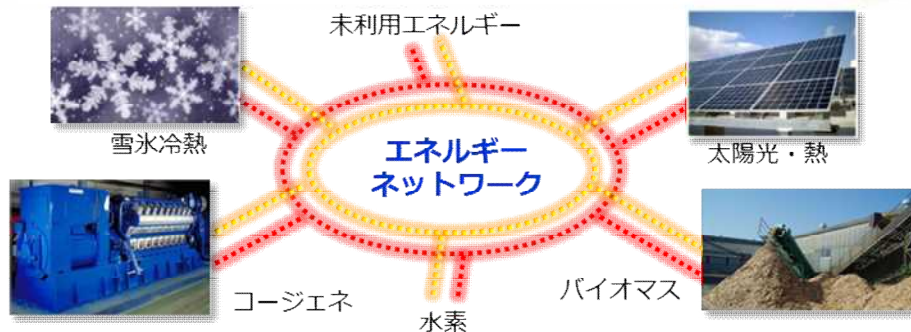
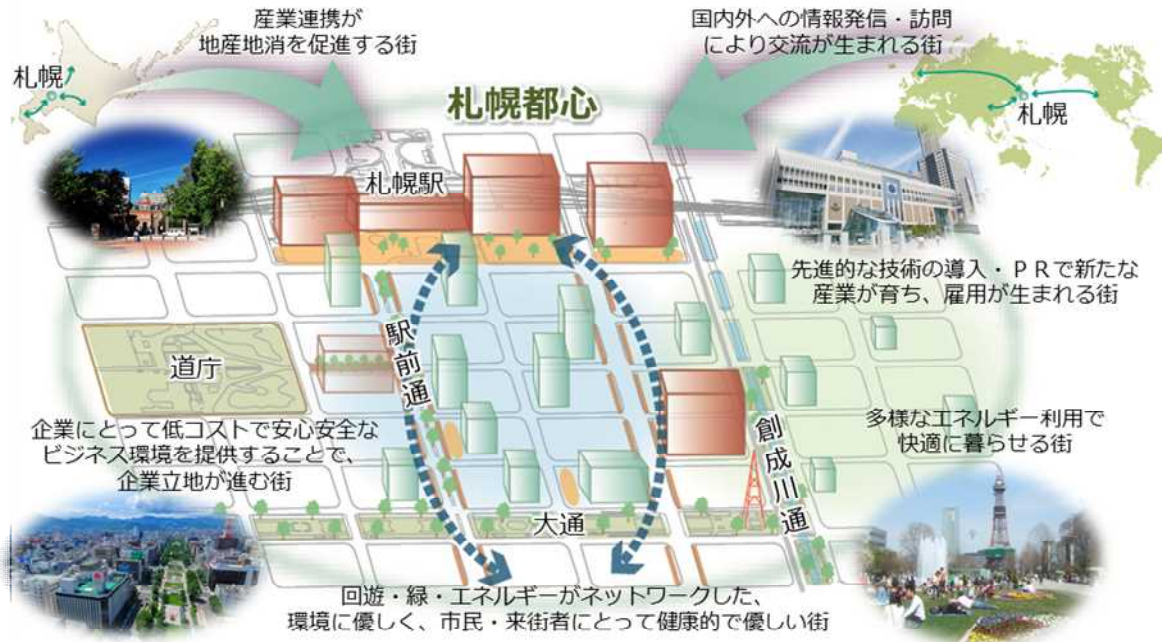
低炭素化

非常時の自立機能の強化

多分野との連携による多様な効果

経済成長と環境負荷低減の実現

札幌都心ブランドを世界へ発信



「水とレインボープランのまち」長井市の新たな循環型まちづくりと賑わい創出構想

～地域資源によるエネルギー循環モデルの再構築と低炭素交通社会の定着を目指して～

代表提案者	山形県長井市
協働提案者	民間エネルギー事業者、大正大学、山形大学、山形鉄道株式会社、一般社団法人置賜自給圏推進機構

【人口・世帯数】
(H27.3.31現在)

◆総人口
28,057人
◆世帯数
9,616世帯



長井市総合戦略

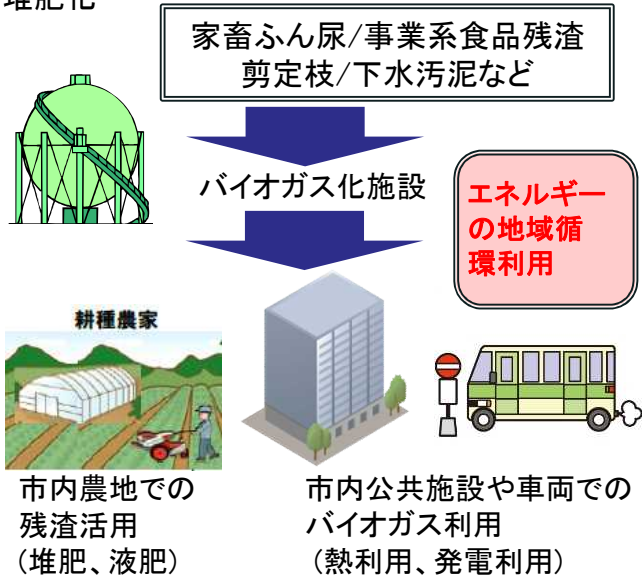
～長井市の魅力を高め、ひとの循環・交流を強くするために～

3/10のLP	実現のための方策	具体的な方策	構想
地域循環創エネルギー事業の実施	バイオマスの燃料化・発電利用・堆肥利用	レインボープラン (住まい)	LP1
中心市街地活性化事業の実施	都市機能の再配置とまちなかの賑わい	まちの魅力発信 (まち)	LP2
小さな拠点の形成	中心市街地とその周辺部の拠点化	公共交通の利便性 (交通)	LP3

LP-1 レインボープラン+(プラス)の構築

再エネポテンシャルを活用した創エネ

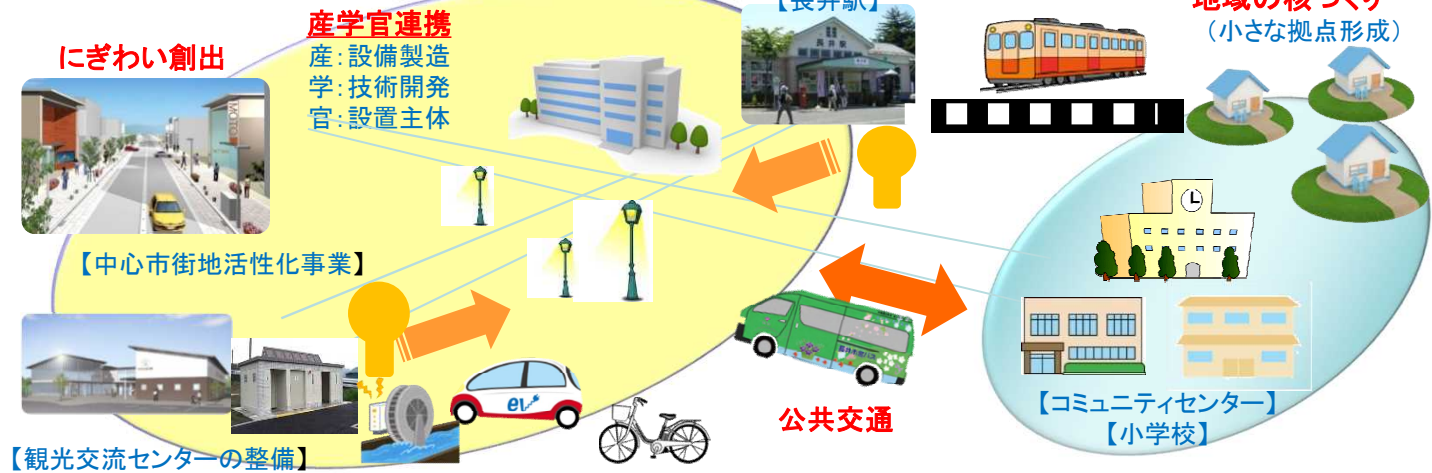
■市内に存在する有機質資源のエネルギー化・堆肥化



LP-2 水を活かした創蓄省エネモデルの構築

再エネポテンシャルを活用した創エネと「水のまち」と「水を活かした創蓄省エネモデル」のイメージ戦略

- ピコ水力発電によるエコトイレ・レンタル電気自転車・道路LED照明などの設置
- EVからの給電による電気ポートツーリング、エコツアーなど



LP-3 省エネ低炭素交通システムの構築

公共交通の利用促進による省エネ

- 公共交通利用による低炭素化
- 都市機能の充実と、「ひと」の流れによるまちなか賑わいの創出

北栄町の地域資源を活かしたまちの活性化と低炭素化の両立構想

～風力・農業・コナンで目指す低炭素まちづくり～

代表提案者

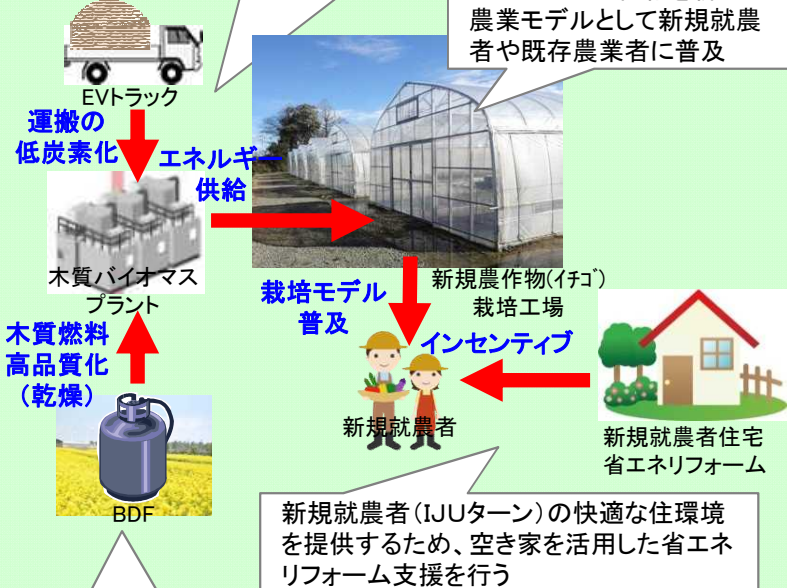
北栄町(鳥取県)

北栄町の基幹産業である農業を将来にわたって『夢と希望が持てる職業・産業』としていくこと、『まちで暮らすひと(住民)』『まちを訪れるひと(観光客)』も気軽に動ける活発なまちとすることを創蓄省エネルギー化を目指していくとともに、まちの地域エネルギーのシンボルである『風力発電』を持続的なまちづくりに活かしていくことを検討することとし、以下の2つのリーディングプロジェクト(LP)を骨格とした構想を掲げる。

【LP1】地域エネルギーの地産地消を通じたまちの基幹産業の振興

新規農作物(イチゴ)栽培施設への木質バイオマスエネルギー供給を行う地域エネルギー会社の設立について調査研究を行う

新規農作物(イチゴ)栽培施設の設置と木質バイオマス等エネルギーの供給を新しい農業モデルとして新規就農者や既存農業者に普及



【LP2】地域モビリティの低炭素化を通じたまちの人流活性化

EVカーシェアリング: 平日は役場公用車、休日は町民や観光客が有効利用
タクシー車両のEV化



地域ボランティアによる高齢者等交通弱者の外出、買い物支援



コナン通り周辺のにぎわい創出
⇒ ふるさと館、コナンの里、観光農園等の回遊性向上
⇒ 超小型モビリティの実証



避難所に指定された公共施設へのV2H/V2B導入
⇒ 家庭・事業所へのEV、V2H/V2B普及
⇒ 災害時の非常用電源として活用

《非常時》



将来の展開【風力発電施設の有効活用】

風力発電による水素製造などの「蓄」エネの技術開発の実証フィールド
風力発電施設の運営・整備にかかる新規事業の誘致⇒新たな地域産業の創出
町内EVの直接電源とし、エネルギーの地産地消を実現



まちと中山間地の対流を加速させる杵築市の創蓄省エネルギー化構想

～100年住みたくなる めぐりめぐる 循環型のまち杵築の実現～

代表提案者

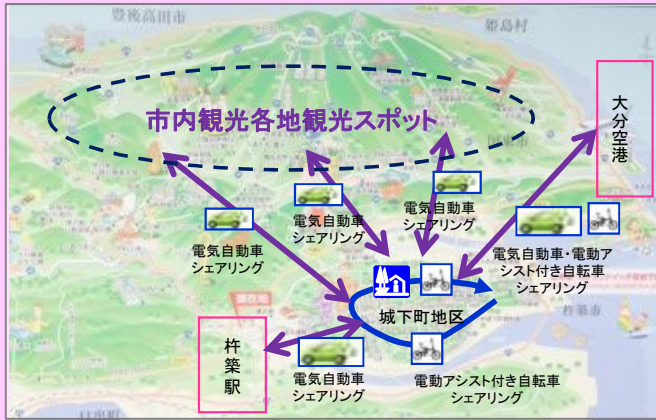
大分県杵築市

各地域や拠点・施設を低炭素なモビリティでつなぐとともに、交通結節点を整備することによって、市内外とのヒト・モノ・経済の対流を促進させ、市街地の活性化と中山間地の自立を目指し、杵築市の持続可能性を実現する。

LP1

観光都市杵築の魅力を増進させる
スマート交通推進プロジェクト

- ・サイクルシェアリングの導入
- ・電気自動車の導入
- ・その他付随サービスの導入



観光や拠点間移動のための電動アシスト付き自転車シェアリングの実施、市役所公用車の電気自動車化と休日におけるシェアリングの可能性など。

LP2

中山間地の生活を支える
コミバス革新プロジェクト

- ・コミバスの電気化
- ・コミバスの貨客混載化
- ・コミバス&コミトレの推進



中山間地の農家が産品の運搬に使用したり、高齢者の交通手段確保と宅配に利用する貨客混載化(現代版の行商)。JRを巻き込んだ、コミュニティトレインの実施

LP3

観光・生活を支えるスマート・多機能型
道の駅整備プロジェクト

- ・創蓄省エネ機能+防災/避難所機能
- ・観光情報発信機能
- ・生活サービス&アメニティ提供機能 (ほか)



創エネと連動した電気自動車・自転車の充電設備の設置と防災機能の付与。ウォーム&クールシェアの拠点化。市内外との交通結節点として整備する。

- ・省エネをベースに、人やサービスの流れの集団化・双方向化することにより、公共交通や暮らしの低炭素化を目指す。
- ・交通網を見直し、市街地へのアクセス向上、中山間地等での生活サービス機能の維持を図る。

『八代市・地産エネルギーを活かしたコミュニティ再興と変革』構想 ～地域資産を活かした新しい温泉地作りと、エネルギー経済循環・強靱な地域を目指して～

代表提案者	やつしろ未来づくり協議会（八代学園・西田精麦(株)・松木産業(株)・八代市・他）
協同提案者	日奈久温泉旅館組合・株式会社DFC

八代市は、海・河川・森林に囲まれた自然豊かな地域であるが、歴史ある日奈久温泉で後継者難で旅館の撤退が進み、町内の街灯が一部消えるなど、活力の低下が見受けられる。八代市の地域資産である、水資源・農水路等の地産エネルギー源を活かしつつ小水力発電を事業推進したり、日奈久温泉にてバイオマス発電を取り入れつつ家族風呂や介護付温泉事業に取り組むなど地産地消型の新しいプロジェクトを進めることで、コミュニティを再生し、さらに進化させることを目指す。

八代市の特色ある地域資産

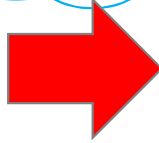
豊富な水資源・用水路

地域創出エネルギー
MEIDO IN八代

歴史ある観光地・日奈久温泉

LP1:水力資源の発掘・活用

LP2:地産・分散エネルギー活用による
日奈久温泉の再興と変革

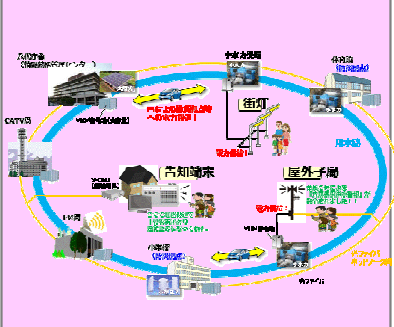


① 小水力発電推進



地域の特性をいかした用水路を地産地消型の電力源として、小型水力発電機を設置し、農業施設や防災施設等に電力を供給。そのための水車の開発も行う。

② 防災情報インフラ網の強靱化



小水力発電+蓄電池+EVを利用した重要設備や施設の無停電化等を図ると共に電源レスセンサの適用による停電エリアの安定的な情報収集、

LP1で
培われた
地域エネ
事業体の
ノウハウ活用

① 地産電源開発



町内でバイオマスを活用した地産発電施設を建設し、温泉循環ポンプや街灯向け電力を供給

② 家族風呂・介護温泉施設推進



駐車場や空き地を活用して家族風呂、廃業旅館を活用して介護付き宿泊施設を建設。温泉水加温には発電排熱活用。